

大正十三年十一月五日

児玉平馬

小林得三

山口縣令関口隆吉殿

内務部議案 會計部歴査

別紙内務省伺山口縣士族拝借金ノ儀按スルニセノ  
ントノ需用日ヲ追テ増加スルハ勿論ニシテ其山口  
縣ニ於テ製造スルヤ實地ニ適當ノト被存候今此  
ノ事業ヲ起ス時ハ士族授産ノ道タルノミナラス國  
家ノ裨益亦不少ニ付伺ノ通資金貸下ノ儀御聞届相  
成可然我仰高裁候也  
十三年七月三十一日 會計檢  
査院 大藏省へ通牒

十三年十一月五日

内務省 工部省

大藏省 開拓使へ達

工業勸誘ノ爲ノ政府ニ於テ設置シタル諸工場ハ其組  
織整備シテ當初目算ノ事業漸ク擧カルニ從ヒ官廳ノ  
所有ヲ解キテ之ヲ人民ノ營業ニ歸スヘキモノニ付別  
紙概則ニ準據シ其省使所管諸工場漸次拂下ケノ處分  
ニ及フヘシ此旨相達候事

工場拂下ケ概則

第一條

左ノ條件ニ適應シ且之ヲ承認スル者ハ詮議ノ上工場  
ノ一ヶ所若クハ數ヶ所ヲ拂下クルヲ得ヘシ  
一 數人合資ノ會社若クハ一人ニテ必要ノ資本金ヲ出

六下

スノカアル事

二各工場營業資本金ハ必ス拂下ケノ際一時ニ上納シ  
且興業費ハ該工場ノ種類營業ノ難易等ヲ斟酌シ年賦  
上納ノ事

三興業費完納ニ至ル迄ハ該工場ノ建物諸機械ハ政府  
ヘ對シテ抵當ト爲ス事

四興業費完納ニ至ル迄ハ該工場ノ會計ハ政府ヨリ特  
ニ命スヘキ監督員ノ監督ヲ受ケ其承認ヲ受クルニア  
ラサレハ該工場ノ資産ニ關スル負債ヲ起シ若クハ權  
利ヲ放棄スルヲ能ハサル事

### 第二條

一ヶ所若クハ數ヶ所ノ工場ヲ拂下ントスル時ハ段令  
既ニ一會社若クハ一個人ノ請願人アリ此概則ノ旨

趣ニ遵ヒ拂下ケ約條ノ要領ヲ舉示シテ廣ク公告シ豫  
定ノ期限ニ至リ他ノ請願人ノ有無ヲ明カニシ若シ他  
ノ請願人アルハ共ニ拂下ケ約條按テ取纏ノ所管ノ  
省使長官ノ意見ヲ具シテ太政官ニ稟議スヘシ

### 第三條

前條ニ依リ工場拂下ケノ稟議アルハ太政官ニ於テ  
ハ臨時委員ヲ命シテ之ヲ審議セシメタル上可否ノ裁  
決ヲ下スヘシ

### 第四條

工場ノ製造品ニ依リテハ毎歲各官廳所要ノ量數ヲ概  
計シ若干ノ物品購求ノ豫約ヲ爲スヲ得ヘシ

### 會計部議案

正貨ノ収支ヲ均スル事及ヒ各廳經費減少ノ御達有

之候ニ付テハ過般上申及置候官工場拂下ケノ儀ニ  
付別紙ノ通内務工部大藏ノ三省及ヒ開拓使ハ御達  
相成可然哉仰高裁候也 十三年九月

展覧場

十三年十月廿一日

内國勸業博覽會事務局ハ達

其局職制別紙ノ通更定候条此旨相達候事

第二回<sup>明治十四年</sup>内國勸業博覽會事務局職制

本局ハ明治十四年東京府上野公園ニ於テ開設スル

第二回内國勸業博覽會ノ事務ヲ處辨スル為ノ内務

大藏兩省間ニ臨時設置スル所ナリ

職制

總裁

壹人

本局ノ諸職負テ統率シ本會一切ノ事務ヲ總理ス

副總裁

無定員<sup>内壹人總裁事務ヲ代理スルハ</sup>

總裁ノ事務ヲ贊助ス

事務官長

壹人